南の国の真夏に挑む体験の旅

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で23回を数え「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、7月1日から5日までの日程で町内3校の小学6年生17名と随行5名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。参加した児童の思い出を、感想文で紹介します。

「たくさん学んだ体験の旅」

幾寅小学校
大神　愛子

私が、今回体験の旅に行って印象に残っていることは、四つあります。

一つ目は、気温です。飛行機から降りた時、熱風を浴びているようでした。そして、湿度がとても高かったです。

北海道と沖縄の気候の違いを感じました。私の住む南富良野は夏でも山からの涼しい風が吹きますが、沖縄では海からの熱い風がすごく新鮮でした。

二つ目は、ホームステイです。2月に来た宇根愛生さんのお宅に泊まらせて頂きました。そして、同じく2月に来た比嘉真乃さん、妹の愛さんも一緒に泊まりました。

子牛にも乗らせてもらい、うれしかったです。料理も、すごくおいしかったです。やさしい方達でした。

YOSAKOIソーランを披露

三つ目は、ひめゆり平和祈念資料館です。証言ビデオでは、実際に戦争を体験した人の話が聞けてよかったです。

教科書で学んだことがこの世界で起こり、私には信じられないような悲惨なことが実際にあったのだと分かりました。

そして、ひめゆり学徒隊の証言集も読みました。映像では伝わらない、ひめゆりの人たちの心がわかった気がしました。特に印象に残ったのは、両足が切断され戦えなくなった兵隊に、青酸カリを混ぜたミルクを飲ませる場面です。

兵隊は「たのむからあと少しでも生かさせてくれ」とせがむのですが、ひめゆり学徒隊の人達は「ごめんなさいね」と泣きながら兵隊の口にミルクを流し込んだと書いてありました。その兵隊も生きていたかっただろうし、ひめゆり学徒隊の人達もその兵隊に死んでほしくなかっただろうと思いました。戦争は勝手で、

熱帯ドリーム園

無責任なものだと改めて実感しました。この先、日本がどんなに苦しくても、戦争はしてほしくないと思いました。

四つ目は、国際通りです。色んなお店が並んでいて、見ているだけで楽しかったです。私は、この国際通りで色々買物ができたので、良かったです。そして、どのお店でも「めんそーれ～」と温かく迎えてくれました。良い思い出になりました。私は、この体験の旅を通して、色々な貴重な体験をさせていただきました。沖縄地上戦での悲しい過去や、また沖縄の人達の温かいやさしさ、エイサーやサレービチ漁などの伝統を守り続けている力強い意志から、私は色々なことを学びました。このことを、今後に生かし、役立てていきたいです。

「初体験がいっぱいな旅」

幾寅小学校
柴田菜留美

7月1日から5日にかけて「南の国の真夏に挑む体験の旅」がありました。沖縄へ行くのも初めて、飛行機に乗るのも初めて、海に入るのも初めてと色々な初めての体験ができました。楽しく、勉強にもなりました。1日目の歓迎夕食会と2日目の町内の6年生との交流は、沖縄のみなさんが温かく迎えてくれました。YOSAKOIの発表では、「すごかったよ」と言われすごくうれしかったです。そし

本部小児童との給食

てホームステイ先の家族のみなさんと町内の6年生といっぱい話しができ仲良くなれました。

2日目はやんばるガラス工芸館でガラスのコップを作りました。準備などは大人の方がやってくれて、簡単な作業をさせてくれました。ですが簡単な作業でもすごく緊張しました。でも大人の方達が優しく教えて下さってうまくできました。そして、作業場は暑く、大変は仕事だと言うことがわかりました。3日目では私が楽しみにしていた美ら海水族館、エメラルドビーチ、ホームステイがありました。美ら海水族館では大きい魚や小さな魚、深海に住むめずらしい魚などたくさんいました。

水そうの大きさは他国に抜かされてしまったけど、内容は世界で一番だということを聞きました。それは全部沖縄で獲られた魚だからです。私は水族館で魚のことや水族館内のことが調べられました。

エメラルドビーチは海がすごくきれいでした。いっぱい遊んだけどまた泳ぎたいと思いました。そして夜にはホームステイがありました。本部町の色々な所へ連れて行ってくれたり家で花火などと写真たての飾り付けもさせていただいたりしました。また夜ごはんではタコライスがすごくおいしかったです。そしてうれしく楽しかったです。

沖縄の住み方と北海道の住み方の違いも少しわかりました。3日目の本部町立博物館と4日目のひめゆり平和祈念資料館などでは、戦争について学びました。多くの人々の命がうばわれた悲惨な戦争でした。本を読んだり、映像を見たり、話しを聞いたり貴重な体験ができました。これからも戦争のことは忘れずに平和な世の中でいてほしいと思いました。

この旅は、色々な方が準備をしてくれ、お父さんお母さんの支えのおかげで楽しく過ごせたと思います。そんなみなさんに感謝してこれからに生かしたいと思います。

沖縄国際通りでのグループ行動

「沖縄での思い出と学んだ事」

幾寅小学校
高橋　諒

僕は沖縄で一番楽しみにしていたことはホームステイです。

僕が泊まったホームステイ先は2月に僕の家にホームステイしてくれた伊豆原滉一朗君の家でした。滉一朗君のお父さんに連れて行ってくれた海で、シュノーケリングをしました。海の中はすごく大きな緑色のサンゴやウミヘビやきれいな魚を見ることができました。初めて見る沖縄の海はとてもきれいでした。家に帰ると滉一朗君の兄弟と水鉄砲で遊びました。水のかけあいをして楽しかったです。夕食はバーベキューをしました。

お肉は厚く焼きそばやソーセージなども食べました。とてもおいしかったです。

お風呂では泡風呂に初めて入りました。とても気持ちが良かったです。そして夜にはA&Wに行ってオニオンリングやコーラフロートなどを食べました。帰ってからは二段ベッドでぐっすり眠ることができました。次の日の朝食を食べた後、元気村に連れて行ってもらいイルカを見に行きました。イルカがたくさん見れてよかったです。そして最後のお別れをしました。滉一朗君とたくさんの思い出が出来てうれしかったです。

夕食バーベキュー

二番目に楽しかった思い出は美ら海水族館です。色々な海の生き物を見ることが出来て、その中でも、ジンベエザメとマンタがとても大きくて迫力がありました。サメ博士の部屋ではサメの標本を初めて見てすごく大きな口で驚きました。そして深層の海ではダイオウイカのホルマリン標本を見ました。全長が6メートル37センチもあり、すごく長くてびっくりしました。

三番目は平和祈念資料館についてです。沖縄で戦争が始まった頃から終わった頃までのことについて学びました。日本で亡くなった人がたくさんいて、名前もたくさんのっていました。

戦争中の暮らしはとても貧しくてそれでも生き延びた人や、途中で死んでしまった人がいてとても悲しくなりかわいそうだと思いました。僕は今の生活は当時の戦争があった時よりも豊かな暮らしが出来ていると思います。自分は今の暮らしが出来ていることに感謝しなければいけないと思いました。最後に南の国の真夏に挑む体験の旅に参加さ

歓迎夕食会